

課題番号 10

基本方針：Ⅱ		課題名：果樹産地ブランド強化の推進	
対象：生産者組織		計画期間：H30～R2	
		事務所名：南部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R1年度末）	
①奈良県プレミアムセレクト取組推進	打合せ 糖度調査 販売調査	プレミアムセレクト認証品目数 1品目 → 3品目	取組団体数 2団体 → 4団体
②富有柿の高糖度安定生産に向けた支援	打合せ 調査圃の設置 園地条件調査 園地条件検討会の実施	平均糖度 15.9度 → 16.3度	高糖度比率 46% → 67%

総合評価（コメント）
<p>A：4名 B：2名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■元気な若い生産者をどんどん刺激して下さい。</li> <li>■施肥の改善、糖度計の活用など他産地の負けないブランド力強化に引続き取組んで欲しい。</li> <li>■今後も農業者が活気づくプロジェクトを実施し、産地のブランド強化並びに維持・発展につなげて頂きたい。</li> <li>■とても良い。</li> <li>■南部管内は若い世代の後継者が多く高収益な農業を確立できるよう、今後の普及活動に期待しています。</li> <li>■ブランド強化は継続して取り組み、他産地にない競争力と価格形成力を付ける果樹を育ててほしい。</li> </ul>

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none"> <li>■プレミアムセレクトの取組は、県制度を活用した産地のブランド強化と、それに付随する生産者の意欲向上に資するものであり、特に大淀町のナシでは若手農業者を中心に積極的な活用がなされた。</li> <li>■これからの柿産地展望において、現在40～50代の中堅農業者が主力となり、現在30代の若手農業者がそれに次ぐという形が想定される。今回の西吉野柿部会生産部の活動を契機に、これら農業者が活発に意見を出し合い、産地を自らブランディングしていけるような誘導を行っていく。</li> <li>■優良系統「上平早生」は導入による経営改善が確実に見込める。県で発見された系統という優位性もあり、今後も引き続き導入拡大を推進していく。</li> </ul>